

緊急地震速報試験・シェイクアウト訓練の実施

消防庁・気象庁は、都道府県や市町村と連携して全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用した訓練用の緊急地震速報を配信する試験を行います。

町では、この試験放送に併せシェイクアウト訓練■を実施します。緊急地震速報配信から強い揺れが来るまでのわずかな時間で身を守る適切な安全確保行動を慌てずにとるため、家庭や職場等で実施してください。

この機会に家庭や職場等で非常用持出品や避難経路の確認等の取組みを行うとより効果的です。

ただし、気象・地震活動の状況によって訓練を中止することがあります。

また、職場などで実施する場合はマスク着用など新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底して行ってください。

シェイクアウト訓練とは

アメリカで生まれた一斉防災訓練で、地震の際の安全確保行動 1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につけるもの。

日時

11月5日（木） 午前10時ごろ

情報伝達手段

・防災行政無線

・ましきメール →



・SNS

LINE →



Twitter →



訓練方法

- ①訓練用緊急地震速報「緊急地震速報。大地震です。大地震です。これは訓練放送です」を防災行政無線で住民の皆さんに伝達します（実際の地震ではありません）。
- ②放送が聞こえたら、「身を低くし、頭を守り、落下物や塀の倒壊などの危険性がある場所から避難して動かない」等の自分の身を守る安全確保行動を1分間程度とりましょう。
- ③安全確保行動後、非常用持出品や避難経路などについて、家庭や職場で確認しましょう。

固危機管理課 危機管理係 ☎ 286 - 3210

農作業事故に注意しましょう！

これから秋の農作業が本格化します。

毎年、県内では10人ほどの尊い命が農作業事故で失われており、特にトラクターやコンバインなど大型農業機械からの転落や転倒によるものが多くなっています。

特に高齢者による事故が多く、死亡事故の多くを65歳以上の人が占めています。

農作業事故を防止するためには、1人1人の安全意識の向上と、家族や周囲の人からの「声掛け」による注意喚起が重要です。

家族、周囲の人、仲間同士でも「今日も無事故で家へ帰ろう」と声を掛け合い、農作業事故の防止に努めましょう。

気を付ける点

- ・安全フレームがあるトラクターを使用して、シートベルトとヘルメットの着用を徹底する
- ・高齢者の事故やトラクターなどの転倒事故が多いので、特に注意する
- ・道路、ほ場の傾斜や路肩など、作業の周辺を十分に確認する
- ・機械の点検や清掃は、必ずエンジンを止めてから行う

固産業振興課 農政係 ☎ 286 - 3277